

広報



さくら

第63号

令和6年6月1日発行

発行 小千谷さくら病院

脳神経難病センター

編集 小千谷さくら病院広報委員会

## 新年度の御挨拶

新年度を迎えるに当たり、日頃より当院の運営に関してご協力いただき、皆様に改めて深く感謝申し上げます。

今年は県内の桜が一斉に咲きだし、その後一斉に散り始め、天候も良かったせいかな例年になくらしい花吹雪が病院のあちらこちらで舞い上がりました。病院の名前は前身である西小千谷病院を視察に来られた田宮理事長が、小栗田原周辺や病院敷地内に桜の木が多かったことから名づけられたと聞いていますが、2002年には病院名をお聞きいただいた(株)新潟トヨペット様から御厚意でソメイヨシノの苗木を寄贈頂き、更に本数が増えた経緯があります。20年以上の歳月を経て咲き誇る桜の木を見ると感慨も一入ですが、その一方で西小千谷病院時代から咲いていた桜の木は、豪雪や強風に耐えきれずに一本、また一本と本数が減っていることに時代の移り変わりを感じます。

当院の前身である国立療養所西小千谷病院について少し触れてみたいと思います。元々は1947年国立新潟療養所(柏崎市)の小千谷分院として発足、当初は小千谷市中心部から西に位置する上ノ山に立地しており、主に結核の療養病棟として機能していたようです。現在病院がある小栗田原には戦時中には飛行場があったとのことですが、1980年の春に現在の場所に移転、翌年の11月に三稜会という同病院のOB会に当たる組織が建物の南側一列に吉野桜を植えています。新潟大学神経内科教室の意向で、この病院は神経難病の慢性期患者に少しずつ携わっていくようになっていました。その後暫くは他の診療科もあったようですが、私が赴任した1999年に常勤医は神経内科医師のみとなっていました。院長は国立療養所新潟病院院長の若林先生が兼任されていて、とりわけパーキンソン病の専門家であられた石川先生を主軸に、慢性神経疾患の患者さんの診療を行っていました。2001年の03月に長岡福祉協会に移譲になった際に大半の職員は新潟病院へ移ってしまい、残された僅かなスタッフと、長岡福祉協会からの立ち上げスタッフ、診療部については若林院長と私だけで80床の旧1・2病棟を当時は何とか切り盛りしていました。現在はスタッフの数もそれぞれ増えて、当時のことを考えると隔世の感があります。

副院長 出塚 次郎

## 呼吸ケア委員会の立ち上げにあたって伝えたいこと

当院は、神経難病をはじめ進行性疾患の患者様が多く入院されています。神経難病の患者様に限らず、肺炎などの呼吸器疾患、心不全など、「呼吸が苦しい」と感じる患者様は多くいらっしゃいます。そんな時、呼吸の苦しさを改善してくれる、酸素療法や吸入療法、人工呼吸器、呼吸リハビリテーション、排痰手技といった医療技術が必要になります。「なるべく長く生きたい」、「延命したい」という望みをお持ちの方々もいます。延命までは望まないが、最期が少しでも安楽であってほしいと考える方もいるかもしれません。自分あるいは、家族・大切な人がそのような状況になったとき、どんな病院で、どんなケアをしてもらいたいですか。

私が呼吸ケアを学ぼうと思ったきっかけは、担当患者様の肺炎発症や、病気の進行に伴い、私（リハビリの理学療法士という職種です。）に出来ることは何かないだろうかと悩んだことでした。リハビリといえば、歩く練習や、日常生活動作の練習、筋力トレーニングなどをイメージされる方が多いかと思います。肺炎発症や病気の進行に伴い、病状が悪化すると、リハビリ職（少なくとも私は）は、その患者様にどんなリハビリを提供できるのか悩み、関わる機会が減ってしまう傾向がありました。

当院の理念「自分なり、家族や友人が利用したい病院づくり」にもあるように、自分なり家族や友人が利用したいと思える病院を作るには、どうすればいいのでしょうか。理念を唱えていても達成されません。「利用したい病院」とはどのような病院か。それを達成するには何をすればよいか考えたうえで、各々が主体的【他に強制されるのではなく、自らの意思で】かつ能動的【自ら周囲に働きかけ、周囲に影響を与えるよう】に活動する必要があると私は思います。この呼吸ケア委員会は、私個人がただ勉強をして、「こうするべきだ」「間違っている」と指摘していくものではありません。「一緒に考えて病院を良くしていく」

「患者様のために職員全体で学び・レベルアップしていく」、そのように周囲の気持ちを上向きにしていく活動を行っていきたいと思います。酸素療法や人工呼吸療法、呼吸機能や各種検査の見かた等、勉強会やニュースレターを企画し、みんなで学んでいけるようにしたいと考えています。医療事故を防止する目的のラウンドも徐々に運用できればと考えています。

一緒に学びたい職員や、考えに賛同してくれる方はぜひ、声を掛けていただけたら幸いです。わからない事があったら、声を掛けて下さい。一緒に調べ、考えましょう。



呼吸療法認定士・理学療法士

高橋将太



# 献立紹介

## 4/12 スペシャルメニュー

- ・米飯 ・若竹汁
- ・刺身 ・菜種和え ・桜の水羊羹



## 4/29 イベントメニュー

- ・ナポリタン ・お浸し
- ・プリンアラモード

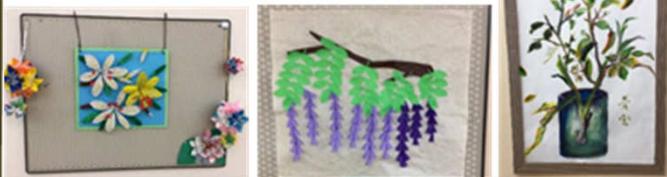


4/12のスペシャルメニューは、旬の素材（竹の子、菜花、桜の葉等）をふんだんに取り入れ、彩り鮮やかな春メニューです。4/29のイベントメニューは昭和の日にちなみ「昭和レトロを感じられるような喫茶メニュー」です。ナポリタンの他、プリンに果物・ホイップ等を添えアラモード風に飾り提供しました。スペシャルメニュー、イベントメニューは、月1回のペースで提供を行っていますが、毎回ご好評を頂いております。これからも季節を舌と目で楽しめる給食提供を行っていききたいと思います。

管理栄養士 内山 奈々

# 患者様の作品紹介

## 1 病棟

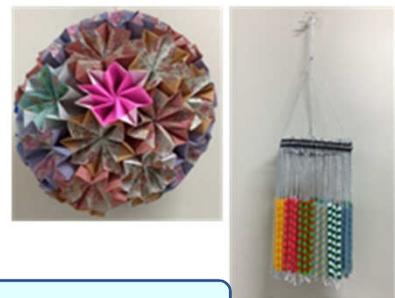


絵の得意な方、折り紙が好き  
な方、個性が出ていて素敵で  
すね♪

## 3 病棟



## 2 病棟



病棟が華やかになります◎

# 新入職員紹介

- ①名前②所属職種  
③性格④趣味⑤ひとこと

さくら病院の新たな仲間です！

- ①川瀬 未来  
②コメディカル部  
臨床検査室 臨床検査技師  
③優柔不断  
④旅行、カフェ巡り、ゲーム  
⑤病院での勤務は初めてです。  
覚える事がたくさんありますが  
これからも頑張ります。

- ①南雲 智宏  
②コメディカル部  
リハビリテーション室 理学療法士  
③おとなしい性格だと言われます。  
④スポーツ観戦、映画・アニメ鑑賞  
⑤昨年よりお世話になっています。  
患者様に少しでもリハビリを楽し  
んでもらえるよう頑張ります。

- ①丸山 歩  
②コメディカル部 薬局 薬剤師  
③楽道家  
④社交ダンス、エレクトーン  
⑤何事にもフットワークを軽やかに、  
楽しく行（or生or活）きましょう！

- ①滋野 光  
②看護部 3病棟 看護師  
③気分屋でマイペースだと言われます。  
④キャンプ、動画視聴、美味しいご飯を  
食べる  
⑤フットワーク軽めです。なんでも気軽  
に話しかけて下さい！

- ①山田 萌  
②コメディカル部  
リハビリテーション室 言語聴覚士  
③大雑把な性格ですが、なるべく  
丁寧にと心がけています。  
④韓国ドラマ鑑賞  
⑤明るく、元気に頑張ります。  
話すことが好きなので、気軽に声をかけて  
もらえると嬉しいです。

- ①竹田 侑矢  
②看護部 2病棟 介護福祉士  
③大ざっぱ、誰とでも話せると  
言われます  
④バスケットボール  
⑤一日でも早く業務を覚えて2病棟の  
力になれるように頑張るので  
よろしくお祈いします。

- ①阿部 莉子  
②看護部 2病棟 看護師  
③頑固 人見知り キャパシティー2ギガ  
④映画ドラマ鑑賞 美味しいお店めぐり  
⑤早く戦力になれるように頑張ります。  
沢山ご迷惑をおかけすると思いますが、  
どうぞ宜しくお願い致します。



小千谷さくら病院  
脳神経難病センター

〒947-0041 新潟県小千谷市小栗田2732番地  
電話(代表) 0258-83-2680  
FAX 0258-83-4416  
URL <http://www.sakurahp.com>  
E-mail [info-01@sakurahp.com](mailto:info-01@sakurahp.com)

広報委員 小河 一義・和田 健・篠田 由江  
小澤 智人・種岡 靖子・上村 理恵